

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
平成 26 年度 第 3 回（6 月）理事会 議事録

- ◇ 日 時： 平成 26 年 6 月 12 日（木）午後 6 時 30 分～7 時 30 分
- ◇ 会 場： 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所
- ◇ 出席者： 運天、竹浦、吉本、高田、荒木、清水、井戸田、出野、山田、宮野、酒井、栗本、山西、杉山、久保田、後藤、栗本監事、柴監事、事務（出口）
- ◇ 欠席者： 田畑、増田
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

I. 行動報告（5 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

- ・ 生涯教育推進研修会助成金を従来通り 5 万円を最大 20 研修会とするか研修会 2 万円及び参加人数×500 円の助成金、最大 20 研修会までの何れか選択制とする。何れも決算報告書、参加者名簿の提出が必要。
- ・ 次の 21 都道府県を精度保証認証制度の重点技師会とし、啓発活動を行う。
北海道、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、福井県、静岡県、愛知県、大阪府、兵庫県、和歌山県、島根県、山口県、高知県、熊本県、鹿児島県、沖縄県
- ・ 制度保証認定技師制度は日臨技認定機構で日本臨床化学会との共同創設とする。
認定は臨床検査技師の免許を持っている者に限る。

2. 事務局

〈総務部〉 5 月 21 日（水）に部会を開催した。

- ・ 大臨技事業の表示区分について検討した。
- ・ 平成 26 年度定時総会について検討した。
- ・ 平成 27 年度日臨技近畿支部医学検査学会への対応について検討した。
- ・ 大臨技ニュース 5 月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉 5 月 21 日（水）に部会を開催した。

- ・ 4 月度収支計算書を作成した。
- ・ 5 月分事務員給与および事業費を送金した。
- ・ 大阪府提出用予算案を作成した。

〈渉外部〉 5 月 20 日（火）に部会を開催した。

- ・ 平成 26 年度「看護の日」週間事業（看護フェスタ 2014）について報告を行った。
- ・ 手話講演会（7 月 5 日、大阪医療技術学園専門学校）について進捗状況の説明を行った。
- ・ 献血推進活動について進捗状況の説明を行った。

- ・ 合同フォーラム委員会について進捗状況の説明を行った。

3. 事業局

〈情報組織部〉5月15日（木）に部会を開催した。

- ・ 新人会員研修会（平成26年8月開催予定）の内容・プログラムを決定した。

〈地区事業部〉5月15日（木）に部会を開催した。

- ・ 検査説明・相談ができる臨床検査技師講習会の企画について検討した。
開催日・場所等：平成26年10月25日～26日、ホテルNCB中之島センタービル、48名参加予定。講師等について討議し、接遇についてはリーガロイヤルホテルのスタッフにお願いすることとした。
- ・ マタニティカーニバル2014（6月28日～29日、インテックス大阪）におけるボランティアの再募集ならびに当日運営について検討した。

〈学術部〉部会開催なし。

III. 報告事項

1. 日臨技平成26年度生涯教育助成金コースの選択について（運天 会長）

日臨技生涯教育推進研修会助成金は、従来通り5万円を最大20研修会とするか研修会2万円及び参加人数×500円の助成金、最大20研修会までの何れかを5月31日までに選択することとなったが、大臨技としては、今年度は従来通り5万円×20回のコースを選択することとした。

2. 臨床検査技師法に関する法律及び医療改正について（運天 会長）

臨床検査技師等に関する法律の1部改正について報告があった。

変更の理由は、検体検査の分野が拡大していくことを想定し、臨床検査技師が行う検体検査業務を患者から採取された検体すべてに及ぶように業務拡大する事。また、検査を外部委託する時に受託先の検査センターの精度管理等を厳しくして検査の質向上につなげることである。

3 第33回日本臨床運動療法学会学術集会について（運天 会長）

日本臨床運動療法学会より、9月6日に開催される第33回日本臨床運動療法学会学術集会のホームページへの大臨技ホームページからのリンク依頼があり承諾した。

4. その他

1) 大阪府への届出書類ならびに報告について（柴 監事）

定款変更に伴う大阪府への変更届出書の説明があった。

大阪府へ提出する平成25年度事業報告等の提出書類についての説明と各部事業内容の校正依頼があった。

2) 全国検査と健康展について（運天 会長）

平成26年度全国検査と健康展は、平成26年11月8日（土）長崎県佐世保市を中央会場として開催され、その他の県は地方会場とし平成26年11月の土曜日または日曜日の1日間開催する。

大阪で開催する検査と健康展の企画・予算申請については、担当の渉外部で検討中である。

IV. 議 題

1. 大臨技事業の表示区分について（山田 理事）

広報における大臨技事業の表示について、今後、学術部の他職種公開講座については、その名称を廃止し学術部研修会に分類し、多職種の名称については、地区の地域オープンセミナーおよび情

報組織部のチーム医療部門セミナーのみに使用したいとの提案があり承認された。

この変更に伴い、新規の大臨技事業参加費についての分類表を作成し広報することとした。

2. 大臨技ニュースの作成部数について（吉本 副会長）

大臨技ニュースの作成部数について、大臨技登録学生制度発足に伴う各教育施設からの送付部数増加の要望や会員数の増加に対応するため、作成部数を現行の 3,700 部から 3,800 部に増刷したいとの要望があり承認された。

3. その他

1) 認定病理検査技師制度指定講習会の受講申請および推薦依頼について

認定病理検査技師制度指定講習会の参加申請については、受講希望者から申請書を大臨技事務所に提出してもらい、大臨技事務所で会長推薦書の作成後、受講希望者に送付し、受講希望者から日臨技事務局宛に郵送してもらうこととした。

2) 平成 27 年春の叙勲・褒章候補者（衛生分野）の推薦について

大阪府から平成 27 年春の叙勲・褒章候補者（衛生分野）の推薦依頼があるが、当候補者について今回は該当者無しとした。

以上